

NY マーケットレポート (2016 年 9 月 27 日)

NY 市場では、欧州市場の流れを受けて、ドル円・クロス円はやや軟調な展開で始まった。欧州株や原油価格の下落を背景に、円買いの動きが続いており、序盤は軟調な動きとなった。また、ユーロは、欧州金融システムに対する懸念を背景に、ドルや円に対して軟調な動きが続いた。その後は、前日夜の米大統領選の候補者討論会で、民主党のクリントン氏が優勢だったとの見方や、米消費者信頼感指数が市場予想を上回り、2007 年 8 月以来の高水準となったことを受けて、比較的安全な資産とされる円を売る動きが優勢となった。ただ、イラン石油相が、サウジとイランの会議では何も提案が出なかったと発言したことから、28 日に予定されている OPEC の非公式会合で、主要産油国が増産凍結で合意する可能性は低いとの見方が広がり、原油価格が一段の下落となったことが影響し、ドル円・クロス円は終盤まで上値の重い動きとなった。

2016年 9月27日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	100.54	100.99	100.10
EUR/JPY	113.10	113.58	112.50
GBP/JPY	130.43	131.24	129.65
AUD/JPY	77.23	77.50	76.20
EUR/USD	1.1249	1.1259	1.1238

LONDON	高値	安値
USD/JPY	100.65	100.28
EUR/JPY	113.21	112.57
GBP/JPY	130.57	129.92
AUD/JPY	77.33	76.77
EUR/USD	1.1253	1.1223

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	100.38	100.51	100.21
EUR/JPY	112.59	112.71	112.26
GBP/JPY	130.61	130.75	129.81
AUD/JPY	76.93	77.03	76.61
NZD/JPY	73.23	73.40	73.03
EUR/USD	1.1218	1.1229	1.1191
AUD/USD	0.7665	0.7672	0.7641

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18228.30	+133.47
S&P500	2159.93	+13.83
NASDAQ	5305.71	+48.22
日経225 (CME)	16465	+185
トロント総合	14558.04	-61.42
ボルサ指数	47731.84	+479.30
ボベスパ指数	58382.49	+328.96

9/28 経済指標スケジュール

14:00 【日本】9月中小企業景況判断
 15:00 【ノルウェー】8月小売売上高
 15:00 【スイス】8月UBS消費指数
 15:00 【ドイツ】10月GfK消費者信頼感調査
 15:45 【フランス】9月消費者信頼感指数
 16:00 【スウェーデン】9月消費者信頼感指数
 20:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 21:30 【米国】8月耐久財受注
 22:00 【メキシコ】8月失業率

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1330.40	-13.70
NY 原油	44.67	-1.26
CME コーン	331.75	+2.75
CBOT 大豆	952.50	+7.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.746%	0.734%
3年債	0.854%	0.856%
5年債	1.114%	1.115%
7年債	1.384%	1.394%
10年債	1.556%	1.580%
30年債	2.278%	2.318%

ドイツ10年債	-0.138%	-0.116%
英国 10年債	0.672%	0.697%

9/28 主要会議・講演・その他予定

- ・米7年債 入札
- ・イエレンFRB議長 証言
- ・シカゴ、クリーブランド、連銀総裁 講演
- ・カンザスシティ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

＜海外の話題＞

米大統領選の第1回テレビ討論会が行われ、「米国の針路」「繁栄への道筋」「米国の安全」の三つのテーマで、約1時間半にわたり行われた。米メディアの多くは、民主党候補のヒラリー・クリントン前国務長官が優勢だったと論評した。また、世論調査でも、クリントン氏の優位が62%に対し、トランプ氏の優位は27%だった。

また、調査会社が実施した世論調査では、メキシコでのトランプ氏の支持は全体の2.9%、クリントン氏の支持は30.4%となっており、トランプ氏がメキシコの負担で国境に壁を建設する政策や、メキシコへの懲罰的関税導入などを提唱していることが影響している。そのため、討論会クリントン氏優位の報道を受けて、メキシコペソは上昇した。



出所: Net Dania



出所: Bloomberg

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

7 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] 190.91 (前回 189.84)
 前回発表の 189.87 から 189.84 に修正

7 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前月比) -0.01% (予想 0.00%・前回 -0.10%)
 前回発表の-0.07%から-0.10%に修正

7 月米 S&P/ケース・シラー[総合 20] (前年比) 5.02% (予想 5.10%・前回 5.11%)
 前回発表の 5.13%から 5.11%に修正



出所 : Bloomberg

◀ S&P/ケース・シラー住宅価格指数 ▶

(米主要 20 都市) 季調前

	7 月	6 月	5 月	4 月	3 月	2 月
指数	190.91	189.84	188.30	186.63	184.55	182.80
前月比	0.56	0.82	0.89	1.13	0.96	0.24
前年比	5.02	5.11	5.24	5.44	5.47	5.40

(米主要 10 都市) 季調前

	7 月	6 月	5 月	4 月	3 月	2 月
指数	204.92	203.85	202.36	200.80	198.78	197.04
前月比	0.52	0.74	0.78	1.02	0.88	0.17
前年比	4.17	4.26	4.43	4.71	4.78	4.65

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月メキシコ貿易収支 -19.13 億 USD (予想 -22.00 億 USD・前回 -18.27 億 USD)

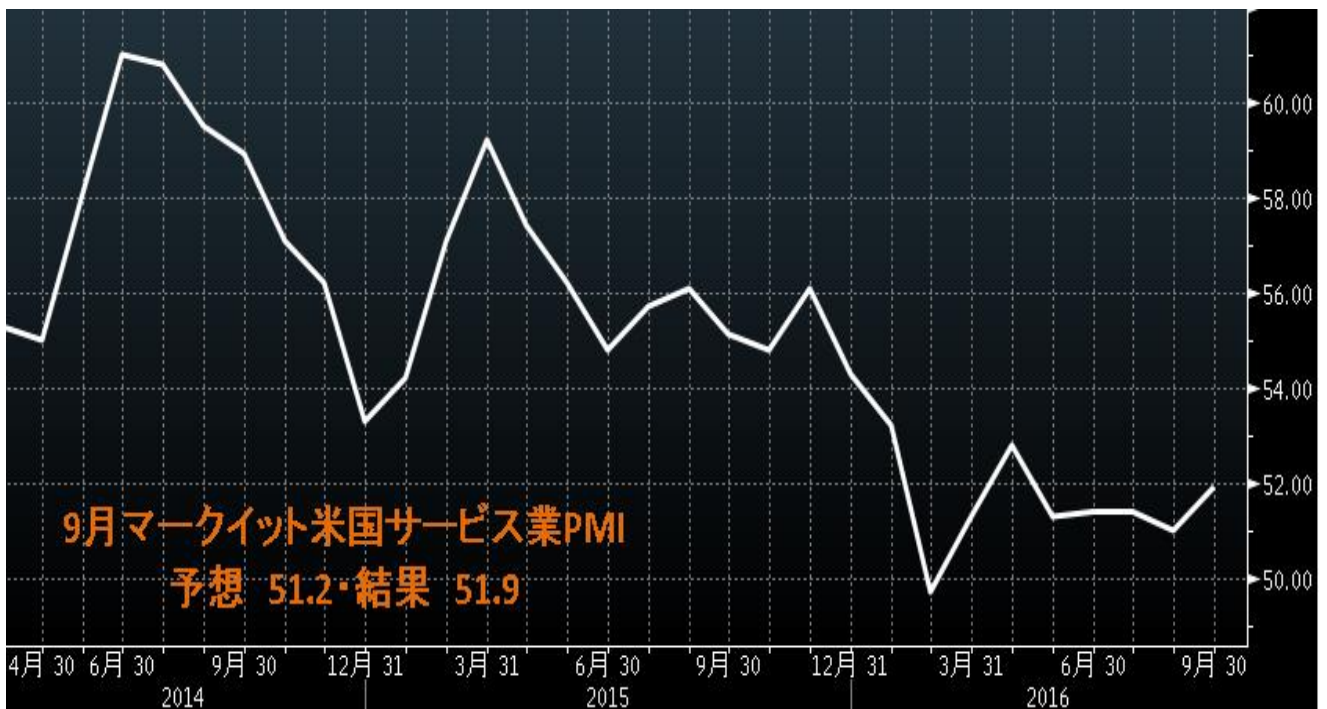


出所：Bloomberg

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

9月マークイット米国サービス業PMI 51.9 (予想 51.2・前回 51.0)



出所：Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米消費者信頼感指数 104.1 (予想 99.0・前回 101.8)

前回発表の101.1から101.8に修正



出所：Bloomberg

◀消費者信頼感指数▶

9月・8月・7月・6月・5月・4月
信頼感指数・・・104.1・101.8・96.7・97.4・92.4・94.7
現況指数・・・128.5・125.3・118.8・116.6・113.2・117.1
期待指数・・・87.8・86.1・82.0・84.6・78.5・79.7

【現況指数】

業況

良好・・・27.4・30.3・27.3・26.8・26.1・24.2
悪化・・・16.2・18.2・18.5・18.3・21.4・18.2
普通・・・56.4・51.5・54.2・54.9・52.5・57.6

【雇用】

十分・・・27.9・26.8・23.0・23.2・24.5・24.2
不十分・・・50.5・50.4・54.9・53.1・51.0・53.0
困難・・・21.6・22.8・22.1・23.7・24.5・22.8

【半年先】

業況

改善・・・16.5・17.6・15.7・16.6・15.0・13.8
悪化・・・10.2・11.4・12.4・11.2・11.7・10.8
横ばい・・・73.3・71.0・71.9・72.2・73.3・75.4

雇用

改善・・・15.1・14.4・13.5・13.9・12.5・12.7
悪化・・・17.0・17.5・17.4・17.7・18.2・16.7
横ばい・・・67.9・68.1・69.1・68.4・69.3・70.6

米CB（コンファレンス・ボード）の9月の米消費者信頼感指数は、市場予想の99.0を上回る104.1となり、2007年8月以来の高水準となった。また、8月は当初発表の101.1から101.8に上方修正された。現況指数は128.5と8月から3.2ポイントの上昇、期待指数は87.8と8月から1.7ポイント上昇した。また、1年インフレ期待は5.0%と8月の4.8%から上昇となり、昨年11月以来の高水準だった。そして、雇用指数は+6.3となり、8月の+4.0から上昇した。

9月23:00

＜ 経済指標の結果 ＞

リッチモンド連銀製造業指数 -8（予想 -2・前回 -11）



出所：Bloomberg

＜リッチモンド連銀製造業指数＞

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
景況指数	-8	-11	10	-10	0	10
出荷	-4	-14	7	-8	-3	13
新規受注	-7	-20	15	-17	0	11
受注残	-20	-21	1	-12	-12	8
雇用者数	-13	7	6	1	4	7
賃金	13	21	14	15	15	16

＜欧州のポイント＞

- ① スウェーデン統計局が発表した8月の貿易収支は、輸入の増加により103億クローナ（12億ドル）の赤字となり、前月の5億クローナの黒字（改定値）から落ち込み、赤字幅は過去最大となった。輸出は874億クローナで前月の861億クローナから拡大、輸入は977億クローナで前月の856億クローナから急拡大した。エコノミストは、「堅調な内需と弱まる輸出という景気の分裂状況を示している」、「第3四半期の国内総生産への圧迫要因となるだろう」との見方を示した。
- ② フランスの財政監視機関は、2017年の財政赤字目標が未達に終わる可能性が高いとの見方を示した。財政赤字を対国内総生産比で3%未満に抑える政府の計画について、歳出が予定を上回る可能性が高いうえ、楽観的な歳入見通しに基づいているとして、達成は困難だと指摘した。
- ③ スイスの資産運用会社は、ECBの資産買い入れプログラムの対象だったドイツ連邦債のうち、過去最高の65%が買い入れ対象外になったとの見方を示した。ドイツ銀行の株価が最安値圏となったことを懸念して、連邦債利回りが急低下したことが要因。ECBは年限が2-30年で、利回りがECBの預金金利の-0.40%を上回る債券を買い入れている。対象外の独連邦債は、8日の理事会直前時点では約57%だった。

1 : 10

《 要人発言 》

フィッシャーFRB 副議長

- ・「経済政策は多様な見解や経験に基づき決定されることがより望ましい」
- ・「賃金は上昇し始めた」
- ・「ゼロ付近の金利は、経済的決定に影響する」

2 : 00

《米財務省 5 年債入札》

最高落札利回り・・・1.129%（前回 1.125%）

最低落札利回り・・・1.030%（前回 1.030%）

最高利回り落札比率・・・15.58%（前回 75.09%）

応札倍率・・・2.39 倍（前回 2.54 倍）

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、OPEC が 28 日の非公式会合で増産凍結を合意するのは難しいとの見方が広がり、原油相場が下落したことが嫌気され、主要株価は続落となった。



出所：Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 13.70 ドル安の 1 オンス＝1330.40 ドルで取引を終了した。

NY 金は、前日の米大統領候補の討論会で、外交や経済政策などが不透明とされる共和党トランプ氏が優勢だったとの見方が伝わったことで投資家のリスク回避志向が後退し、比較的安全な資産とされる金の需要が後退した。



出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 1.26 ドル安の 1 バレル＝44.67 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、28 日に予定される OPEC の非公式会合で、主要産油国が増産凍結で合意する可能性は低いとの見方が広がり、売りが優勢となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、米大統領選の候補者討論会で、外交や経済政策の在り方が不安視される共和党のトランプ氏が劣勢だったとの見方から、金融市場の先行き不透明感が後退して、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、OPECの非公式会合を控えて原油価格が下落したことが影響し、その後はやや上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧州市場の流れを引き継ぎ、序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後、前日の米大統領選の候補者による討論会で、民主党のクリントン氏が優勢だったとの見方が改めて材料視され、上昇に転じる場面もあった。しかし、原油価格の下落などが影響し、上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。